



## 今月の症例

### 急性大動脈解離 StanfordA 心タンポナーデ

症例：68歳 男性

主訴：胸背部痛

診断：急性大動脈解離 StanfordA 心タンポナーデ

経過：バイタルは安定していたが、造影CT撮像後に突然のショックバイタル、意識障害。

手術室へ緊急搬送。緊急開胸にて心タンポナーデ解除し、血圧安定。その後人工血管置換術を施行。

術後経過は良好。現在元気に外来通院中。

心嚢液貯留あり



手術準備中に急変！

解離した大動脈



人工血管置換術後



- ①経験したことのないような突然の胸背部痛
- ②バイタルにかかわらず、破裂や急変のリスクあり
- ③診断から執刀開始までの迅速な対応

※検査項目などは不十分で構いません。本疾患を疑った場合はご相談ください。



文責 恩賀 陽平

## スタッフ紹介 Vol.4



竹内 太郎

医師

心臓血管外科 科長

1981年生 千葉県出身

2019年9月に赴任して4年目になります。大動脈疾患に対するステントグラフト治療も含めて、地域の医療に貢献できるように努力してきます。よろしくお願いいたします。

